

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者コード		資産の種類		資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (円)	耐用年数	価残存率	課税標準の特例		課税標準額 (円)	増加事由	摘要
00000001		資産コード				年号	年	月				率	コード			
01	1			舗装工事	1	5	7	3	2,000,000	20				① 2		
02	2			ボイラー設備	1	5	7	4	500,000	10				① 2		
03	6			ノートパソコン	1	5	7	10	150,000	8				1 ①	中古取得	
04	6			複合機	1	5	7	11	50,000					3 4	(R5年)	
05														1 2		
06														3 4		
07														1 2		
08														3 4		
09														1 2		
10														3 4		
11														1 2		
12														3 4		
13														1 2		
14														3 4		
小計					4				2,700,000					1 2		
														3 4		

「増加資産」または「全資産」のいずれかに○を記載してください。

記入例

所有者名
株式会社南関食堂
有限会社南関食堂

記入不要です。

＜初めて申告される場合＞
南関町内に所有する全ての償却資産について、その名称をご記入ください。種類別明細書(増加資産・全資産用)の「全資産用」に○をしてください。
＜前年度までに申告されている場合＞
令和7年中に増加した資産について、その名称をご記入ください。種類別明細書(増加資産・全資産用)の「増加産用」に○をしてください。
※ 記入は、漢字を含むあらゆる文字が使用できます。欄内に収まらない長い名称等については、短縮し他の資産との区別ができる名称でご記入ください。

取得価額:
・購入した償却資産については、その購入代価(運搬費等の付帯費の額を含む)
・自己の製作、製造等に係る償却資産については、そのために要した原材料費、労務費および経費の額(運搬費等の付帯費の額を含む)
※圧縮記帳の制度は、固定資産税では認められません。圧縮前の価額が取得価額となります。

記入不要です。

資産の種類:
1種→構築物
2種→機械及び装置
3種→船舶
4種→航空機
5種→車両及び運搬具
6種→工具、器具及び備品
数字を記入してください。

令和8年1月1日までに取得した資産の取得年月を記入してください。年号は「昭和...3」、「平成...4」、「令和...5」の別に数字を記入してください。

注意:「増加事由」の欄は、1.新品取得、2.中古品取得、3.移動による受入れ、4.その他 いずれかに○印をつけてください。